

## 事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:消防団車庫改築工事				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市柏原2675番地2				
補助事業の成果の目標	<p>消防組織法第九条において、市町村に消防団の設置が義務付けられており、消防団の活動拠点である消防団車庫は、市町村が整備する必要があることから、建築基準法施行令改正前(昭和56年改正)の耐震基準の建物で老朽化した消防団車庫を建替え、耐震性を高めた消防団拠点施設として整備することで、災害発生時の地域防災拠点として活用し、地域住民の安心・安全の確保に資することを目的とする。</p> <p>【参考指標】          該当車庫に配置している団員の平成28年度出動件数及び出動延べ人員数          出動件数 49件          出動延べ人員数 223名</p>				
補助事業の内容	消防団車庫改築工事 110,90㎡				
補助事業の始期及び終期	平成29年度				
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
	事業費	円 —	円 31,212,000	円 —	円 31,212,000
	交付金額	円 —	円 23,000,000	円 —	円 23,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]          消防に関する施設を新たにすることで、地域住民に防災拠点としての安心感を与えることができています。          消防ポンプ自動車の出入口前が広がったことにより、車両点検等が行い易くなった。          消防ポンプ自動車の出入口が、従前車庫の時に比べ新築車庫の方が交差点から離れたため、交通事故等の危険性が減少した。          消防団車庫の耐震性が保たれ、倒壊による危険性がなくなったことにより、地域住民が安全に過ごせる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]          建物入り口付近に、防衛省の交付金を活用して整備した旨を掲示。          基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に掲載。          狭山市公式ホームページ及び狭山市消防団ホームページに掲載中。          狭山市消防団広報誌(平成30年3月9日発行)に掲載し、市内全地区回覧実施済み。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:防災備蓄倉庫購入				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市北入曾980番地 他4箇所				
補助事業の成果の目標	<p>当市では、市内の指定避難所等に防災備蓄倉庫を設置し、災害発生時の応急対策活動の円滑化を目的に、当面必要な食料、生活資材、活動用機材等を備蓄している。</p> <p>しかし、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫については、1箇所を除き、設置後30年以上が経過し、老朽化に伴う損傷が著しく、食料や飲料水等の備蓄環境には適していない状況である。</p> <p>そこで、平成32年度を目標に、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫について、蓄電池機能を備えた太陽光発電設備やLED照明、換気扇、非常用コンセントなどを備え付けたコンテナ式防災備蓄倉庫への更新整備を進めるとともに、新たに指定避難所となる施設に同様の防災備蓄倉庫を設置し、迅速な物資供給体制を整備することにより、指定避難所の防災機能及び自立機能の強化を図る。</p> <p>なお、今年度は既存の防災備蓄倉庫5箇所を更新する。</p> <p><b>【参考指標】</b> コンテナ式防災備蓄倉庫設置箇所数(太陽光発電設備等付) 既設箇所数 17箇所/計画箇所数 33箇所</p>				
補助事業の内容	防災備蓄倉庫の購入(更新:5箇所)				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成32年度				
事業費及び交付金額		28年度まで	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 56,406,618	円 15,768,000	円 40,304,000	円 112,478,618
	交付金額	円 51,170,000	円 14,000,000	円 33,900,000	円 99,070,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 今年度の整備が完了したことで、市のコンテナ式防災備蓄倉庫更新・新規設置計画の達成割合は22箇所(66.67%)と全体の約7割に達していることから、指定避難所における防災機能、自立機能の強化が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・倉庫扉に防衛省の交付金を活用して設置した旨を掲示 ・市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」で周知</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道幹第57号線改良舗装				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 大字堀兼 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は古くから草刈街道として親しまれ、主要地方道川越入間線から、主要地方道川越所沢線を結ぶ県道を補完する幹線市道として重要な路線である。</p> <p>近年では、隣接する川越狭山工業団地の物流ルートとして大型車交通量が増加し、舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b> 既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画 7路線/延長:5346m※ ・うち当路線の計画延長: 2,200m(※に対する割合41.1%) ・うち平成29年度整備延長:380m(※に対する割合7.1%)</p>				
補助事業の内容	<p>全体工事延長 L=2,200m (H29年度 L=380.0m) (H30年度以降 L=1,820m) 道路幅員 W=6.3m~8.5m 舗装工一式</p>				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から平成31年度				
事業費及び交付金額		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円	円 22,119,480	円 57,652,400	円 79,771,880
	交付金額	円	円 21,400,000	円 48,000,000	円 69,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 今年度より事業が開始し、アンケートの結果から施工中の騒音や振動に対する苦情が多少あったが、路面状況の改善や、騒音及び振動が改善されたとの回答が得られたことから、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今年度より3年間の事業であり、本路線において劣悪な路面状況が続くため、来年度以降も引き続き舗装の打替えを進め、地域の環境改善に努める。</p> <p>また、アンケート結果のその他の項目において、騒音に対する要望には、対応する重機の選定や走行速度の更なる抑制を行ない、改善に努める。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道A第141号線外3線改良舗装				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 大字加佐志 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は川越市境を起点として市の中心部、国道16号線及び入間川を横断し、隣接する日高市に抜ける幹線道路として40年前に整備された重要な路線である。</p> <p>近年では都市計画道路東京狭山線の開通や最寄駅から2kmの立地条件から宅地開発は進み、人口及び車両交通量も増加。舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b>  既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画  7路線/延長:5346m※  ・うち当路線の計画延長 : 496m(※に対する割合9.3%)  ・うち29年度整備延長 : 205m(※に対する割合3.8%)</p>				
補助事業の内容	全体工事延長 L=2,050m (H28年度まで L=1554.0m) (H29年度 L=205.0m) (H30年度以降 L=291.0m) 道路幅員 W=8.0m 舗装工 一式				
補助事業の始期及び終期	平成24年から平成30年度				
事業費及び交付金額		28年度以前	29年度	30年度 以降予定	計
	事業費	円 94,017,823	円 20,570,760	円 16,411,417	円 131,000,000
	交付金額	円 83,800,000	円 19,600,000	円 11,400,000	円 114,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕  当初の計画通り事業を完了したこと、並びに、地域住民等へのアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善されたとの回答が得られたことから、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕  工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>平成24年度より7年間の事業であり、平成24年度から平成29年度の整備完了区間において、交通の円滑化及び走行性の向上が得られたことから、今後も引き続き舗装の打ち替えを進め、地域の環境改善に努めていく。</p> <p>また、アンケート結果のその他の項目において、要望や指摘などの意見もあることから、今後の対応について事業内容の改善を図りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音に対する要望には、対応する重機の選定や走行速度の更なる抑制</li> <li>・交通規制に伴う渋滞は、事前予告による迂回を促し交通量が少ない夜間など施工時間帯の検討</li> </ul>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:道路維持作業車購入事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市入間川1-23-5				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市の道路維持作業車は、道路施設等の維持管理作業のためにほぼ毎日使用し、道路交通の安全を確保している。  更新を予定している道路維持作業車は購入してから15年経過しており、老朽化が著しく、故障する回数が多く、このままだと運用に支障を来しかねない。  そのため、老朽化した車両の更新を行い、道路施設等の安定的な維持管理と、道路陥没や災害時の緊急対応に備えることで、市民の道路交通の安全と生活環境の安定を図る。</p> <p>【参考指標】  ・道路維持作業件数 2,082件(平成28年度)  うち、台風・降雪等対応697件</p>				
補助事業の内容	道路維持作業車1台購入				
補助事業の始期及び終期	平成29年度				
事業費及び交付金額		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 0	円 2,737,800	円 0	円 2,737,800
	交付金額	円 0	円 2,400,000	円 0	円 2,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  道路維持作業件数について、「市民からの要望件数」と「職員による道路パトロール件数」の推移を前年度と比較(対象月9月・10月)したところ、要望件数は112件から119件とほぼ変わらないものの、道路パトロール件数は125件から237件に増加した。  旧車両の修理等での不稼働日数の解消により機動力が強化され、市民の道路交通の安全と生活環境の安定を図ることができたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  ・車体に交付金事業であることを明記  ・基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び公式ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:智光山公園施設改修事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市柏原地内				
補助事業の成果の目標	<p>智光山公園は、狭山市の北部に位置する約53.8ヘクタールの敷地を有する都市公園であり、園内にこども動物園、市民総合体育館、都市緑化植物園、釣場、アスレチック等が整備され、市内外の利用者により利用されている。</p> <p>このうち、老朽化が著しいアスレチック遊具においては、一部の遊具を除き利用を制限している状況となっており、利用者から改修を望む声が寄せられている。</p> <p>そのため、アスレチック遊具を改修することにより、都市公園利用者が快適に利用できる環境を整え、市民のレクリエーションの充実を図る。</p> <p>【参考指標】 智光山公園利用者数 平成28年度 716,463人</p>				
補助事業の内容	遊具改修 3基				
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 26,900,640	円 7,773,840	円 15,990,000	円 50,664,480
	交付金額	円 21,600,000	円 7,000,000	円 12,700,000	円 41,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 アスレチック遊具について、多数の利用者より「こども達が楽しんで遊んでいる」との声を頂いている。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 防衛省の交付金を活用して整備した旨を、公園パンフレットに記載し公園内施設に配置、「狭山市の基地対策」及び市ホームページへ掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	医療に関する事業: 予防接種助成事業								
補助事業者名	狭山市								
実施場所	狭山市内医療機関								
補助事業の成果の目標	<p>予防接種法に規定されている麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)は感染力の強い疾病であり、また、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風は感染すると重篤になる場合が多い疾病である。これに対して、最も有効な対策は発生の予防であり、その手段として、予防接種により免疫を獲得することが重要とされている。</p> <p>本市では、予防接種に要する費用を負担することなく、接種を受けられる環境を整備するとともに、市民に向けて適切な情報提供を行っており、対象者の9割以上が接種を受けている状況である。そこで、本事業を継続して実施し、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹(はしか)、風疹(三日はしか)、破傷風の発生及びまん延の防止に取り組むことで、市民の健康増進を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b> 平成29年度麻疹、風しん接種対象者数: 2,158人(平成29年12月31日時点)</p> <p>※ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風については平成30年度から実施するものです。</p>								
補助事業の内容	ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹、風しん、破傷風に係る予防接種費の助成								
補助事業の始期及び終期	基金の造成: 平成23年度から平成37年度 基金の処分: 平成24年度から平成38年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	23	62,216,000				62,216,000		62,216,000	
	24	72,468,000				72,468,000	40,000,000	94,684,000	46,154,905
	25	56,009,000				56,009,000	25,000,000	125,693,000	26,070,500
	26	25,000,000				25,000,000	25,000,000	125,693,000	25,407,839
	27	10,000,000				10,000,000	24,000,000	111,693,000	24,437,997
28	29,749,000				29,749,000	24,000,000	117,442,000	24,657,396	
29	10,086,000				10,086,000	23,000,000	104,528,000	23,485,058	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 麻疹・風疹の予防接種助成事業は、平成29年度の接種対象者の9割以上が予防接種を受けていることから、市民の健康増進が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 「健康カレンダー」、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:中学生学習支援事業							
補助事業者名	狭山市							
実施場所	狭山市内中学校(8箇所)							
補助事業の成果の目標	<p>本市の中学生の学力は、平成25年度までは全国及び埼玉県の平均と同程度であったが、平成26年度及び平成27年度については下回ってきているという状況にあり、また、家庭学習の時間も全国及び埼玉県に比べ短いという結果が出ている。これらを踏まえ、中学生の確かな学力の定着及び向上が課題となっている。</p> <p>そこで、学校の学習指導を補完するとともに、家庭学習の励行を促すため、各中学校区毎に生徒が学校の授業以外で学習できる環境を整え、多くの生徒の参加を促す。</p> <p>これにより、生徒の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、多くの生徒が家庭学習の習慣を身につけることで、参加する生徒一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内中学校の生徒数:3,413人(平成30年1月20日現在)</p>							
補助事業の内容	学校の授業以外で生徒が学習する機会を設け、学習活動を支援する。							
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から平成37年度 基金の処分:平成28年度から平成37年度							
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益			
		円	円	円	円	円	円	円
	27	16,106,000				16,106,000	0	16,106,000
28	14,000,000				14,000,000	7,470,000	22,636,000	7,476,300
29	14,000,000				14,000,000	6,500,000	30,136,000	6,775,054
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 学習習慣の定着について、参加生徒へのアンケートから、平成29年度埼玉県学力・学習状況調査の埼玉県結果を上回る割合である、9割以上の参加生徒が家庭学習を行っているとしており、また、家庭学習の習慣が身につけてきたとの意見が6割以上、家庭での勉強のやり方が分かってきたとの意見が7割以上、定期テストに向けての勉強が計画的にできているとの意見が6割以上であることから確かな学力及び家庭学習習慣の定着が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 生徒及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							